



四万十町

町内**ぶら〜り**散策
私知らなかった私の町

与津地

よ
つ
じ

見 付から東又方面
に向かい、本堂
交差点を右折して興
津に向かう。ほどな
く道路の両側に点在
する民家が見え始め
る。その辺りから興
津トンネルまでが与
津地地区である。興
津トンネルの手前に
約1.7km続く直線
は、カーブの多い四万十町内
の道路に慣れた者としてほと
ても気持ちが良い。左右の景
色が広々としていることも
あって、開放感もある。ちょ
うどその直線の道路脇に延々
とコスモスが植えられてい
る。10月初旬には満開にな
り、この気持ちのよい景観に
文字通り花を添える。

一説によると、その昔、興
津のことを与津と言った。そ
の与津へ向かう地ということ
で与津地となったのだとい
う。確かなところは不明であ
るが、興味深い説である。

与津地地区は、現在50世帯
ほど、200人ほどの人たちが
暮らしている。町内の他の
地区と同じく、子どもが減り
高齢化が進んでいるという。
ただ、人口が減少した割には
世帯数が減少していない。



夏は地域の子どもたちで賑わいます

稲作で生活できた
頃はもちろんのこ
と、減反政策が進め
られてからも、タバ
コや生姜の栽培など
が盛んで、多くが専
業農家であったが、
ここ最近では高齢化も
あって専業農家は激
減したのだそうだ。
もともと自立型の専
業農家が多かったからなの
か、与津地地区の住民は「独
立気質」があるという。その
あたりがこの地区の住み易さ
の要因なのだろうか。

1.7km続く直線は気持ちいい！



10月になるとコスモスが満開に

地区を流れる与津地川に
は、子どもたちお気に入りの
遊泳スポットがある。夏休み
になると、毎日のように地区
の子どもがやってきて川遊び
に夢中になっている。時代と
ともに少しずつ変わっていく
与津地地区の情勢の中で、唯
一変わらないのが、川遊びに
興じる子どもたちの姿なの
かもしれない。

町のうごき				四万十川の水質状況			
	(8月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	9,060	-10	男	1	12	18	17
女	10,188	-8	女	12	9	17	28
計	19,248	-18	計	13	21	35	45
世帯数	8,810	-2	(8月中の届出)				

	適正值(mg/l)	9月12日
リン酸	≤ 5.0	測定値以下
硝酸	≤ 0.5	測定値以下
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.45
化学的酸素消費量	≤ 10.0	測定範囲以上

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)